

## 第4学年学級活動（1）指導案

1. 日時・場所 令和5年6月

2. 議題 「スポーツ集会をしよう」

### 3. 評価規準

	よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
3 年 ・ 4 年	みんなで楽しい学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 意見の比べ方やまとめ方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しい学級生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について理由などを比べ合いながら合意形成を図り、協力し合って実践している。	楽しい学級生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えを生かし、役割を果たして集団活動に取り組もうとしている。

### 4. 議題について

#### （1）児童の実態

新学年がスタートして2ヶ月が過ぎた。4月当初は緊張してなかなか自分を出せずに過ごしている様子も見られたが、徐々に学級に慣れ、自分らしさを出せるようになってきた。元気いっぱい、素直な子供たちが多い。様々な活動に対して意欲的に取り組もうとする姿もたくさん見られる。

学級目標は、どのようなクラスにしたいのか意見を出し合った。どんなときでも仲間に優しくし、仲間が困っているときは助けたいという思い。クラスで何かに取り組むときに、みんなで力を合わせていきたいという思い。どんなことにも自分から進んで挑戦したいという思いが込められている。毎日の学校生活で、いつでもこの3つの具体的な姿を意識して行動し、いつも笑顔あふれる学級にしていきたいという思いがある。どんなときでも、学級目標に近づくことができた場面を担当が称賛して、子供たちが学級目標を意識しながら学校生活を送ることができるよう支援している。

学級会は、今回で3回目である。1回目は担任が司会グループの役割を担い、話し合いのやり方を確認しながら進めた。「くらべ合う」段階が終わったときに、2つの考えに賛成意見が分かれていた。

「まとめる」段階のときに、2つの考えのよさを合わせた合体意見が提案され、全員がその考えに納得して決めることができた。2回目の学級会からは、子供たちが司会グループを務めている。司会グループは名前順の輪番制にして、どの子も経験できるようにしている。司会グループを務めた子供たちは、話し合いの準備から意欲的に取り組むことができている。現段階で学級会における課題は2つある。1つ目は、自分の考えをもちながらもその思いを発言できない子供たちが多いことである。子供たちが自信をもって発言できるように、担任が学級会ノートに書かれた考えに対しアドバイスや励ましの言葉を書き入れている。そして、めあてに沿った意見を言えた子供や、積極的に発言しない子供が自分から発言できたときはその場で称賛している。2つ目は、合意形成の経験が少ないことであ

る。提案理由や話し合いのめあてに合い、自分にとってもクラスにとってもよい意見に対して合意形成ができるように指導したり、様々な合意形成の方法があることも伝えたりしている段階である。

## (2) 議題選定の理由

今回の議題には、学級目標に近付くために、協力して行うクラスだけのスポーツ集会をしたい」という提案者の思いが込められている。そこで、話し合いのめあてを「みんなで協力できるものを決めよう」とし、そのめあてを意識させながら話し合い、合意形成させたい。

子供たちに2ヶ月過ごしてきた中で協力した場面を聞くと、「体育の時間にみんなで目標タイムの達成に向けてフラフープくぐりをしたとき」や「クラス集会に向けてみんなで準備をしたとき」という意見があった。子供たちにとって協力する姿とは「みんなで力を合わせたり、目標に向かって活動したりする姿」であった。全員で協力して取り組むことで、学級目標の達成につながると考え、本議題を選定した。

1年間の話し合い活動を通して、友達に寄り添って、友達を思いやることができる子供に育てていきたいと考えている。そのためにも、自分とは違う考えでも、友達一人一人の意見や思い、少数の意見も大切にし、みんなで合意形成できるようにしていきたい。また、自分の意見を友達に認められることで、自分に自信をもち、クラスの友達に必要とされていることを実感できる。この経験により、次は自分が友達を認めてあげようとする思いをもつことができるのではないかと考える。自分たちで話し合っただけの決めたことを自分たちで準備し、実践し、成し遂げることができたときの達成感を体験させていきたい。そのような経験を繰り返すことで、自分たちで、学級をよりよくしていくことができることを学んでほしいと願っている。

## 5. 活動の実際

### (1) 事前の活動

活動の場	・児童の活動	○指導上の留意点	☆目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
5月中旬	・議題箱に「スポーツ集会をしたい」という思いが寄せられる。	○事前に話し合い活動の意味について確認し、どんな学級にしていきたいのか考えて意見を入れるよう促しておく。	☆アイデアを議題箱に入れて、よりよい学級生活をつくらうとしている。 <b>【主体的態度】</b> 〈観察〉  ☆寄せられた議題案の中から今の学級にふさわしい議題を選んでいる。 <b>【思考・判断・表現】</b> 〈観察〉  ☆話し合いの進め方について理解している。 <b>【知識・技能】</b> 〈観察・学級会ノート〉
5月日( ) 休み時間 帰りの会	・計画委員会で議題ポストの議題を確認し、みんなで議題を選定する。	○寄せられた議題の中から教師と一緒に議題を選ぶようにする。	
5月日( ) 休み時間	・計画委員会で、話し合いのめあてを決める。また、司会グループの役割分担をする。 ・司会1 ・指名司会1 ・黒板記録2 ・ノート記録1	○今回の学級会では何を大切にして話し合いたいかを計画委員と一緒に考える。	
5月日( ) 帰りの会	・学級会で話し合う議題と提案者の思いを学級全体に伝える。	○話し合う内容や提案者の思いを伝え、思いを共有できるようにする。	
5月日( ) 朝の会	・アイデアカードを出す。	○話し合いのめあてに沿ったアイデアを書けるようにする。	
5月日( ) 休み時間	・計画委員会でアイデアカードから話し合いのめあてに合うアイデアを選ぶ。 (学級会コーナーに選ばれたアイデアを掲示する。)	○話し合いのめあてに近付けるものを選ぶようにする。	
5月日( ) 朝の会	・アイデアの内容について質問し合う。	○アイデアの内容について、共通理解を図るようにする。	
6月日( ) 朝の会	・自分の考えを「学級会ノート」に記入する。	○一人一人が自分の考えをもてるようにする。 ○出されたアイデアからより話し合いのめあてに近付けるものを選び、自分の考えとして書けるようにする。	
6月日( ) 日( ) 休み時間	・計画委員会で、学級会の進め方を確認する。	○話し合いの進め方の進行プログラムを渡し、話し合いの進め方を確認する。 ○学級会ノートに書かれた意見を確認し、話し合いの場面と一緒にイメージしていく。	

(2) 本時の活動

①ねらい 学級目標に近付くために、クラスみんなが協力できる集会の内容を話し合っ  
て決めることができるようにする。

②活動計画

話し合いの順序	○指導上の留意点	☆目指す児童の【観点】〈評価方法〉
1. はじめの言葉 2. 司会グループの紹介 3. 議題の確認 「スポーツ集会をしよう」 4. 提案理由の確認 「今までみんなで協力できたときもあれば、できなかったときもありました。みんなで協力して行うクラスだけのスポーツ集会をすることで、学級目標に近付けると思い提案しました。」 5. めあての確認 「みんなで協力できる集会にしよう」 6. 決まっていることの確認 日時： 場所：体育館 種目： 話し合っ て決めた種目1つ 7. 話し合い 「集会で何を するのか決める」 ①出し合う （事前に行っ ておく） ②くらべる ③まとめる 8. 決まった ことの確認 9. 認め合い タイム 10. 話し合 いの振り返り 11. 先生の話 12. おわり の言葉	○安心して会 が進められる ように、進行 プログラムを 司会に渡して おく。  ○話し合いの めあてからそ れた場合は、 めあてを再度 確認するよう 声をかける。  ○場所や日時 など決まっ ていることは、 黒板に掲示し て見通しがも てるようにし ておく。  ○できるだけ 自分たちで決 定できるように 見守り、話し 合いが行き詰 まってしまった 時には助言す る。  ○友達の思い に寄り添って 聞こうとしたり 、相手に応え るために自分 の思いを伝え ようとしてし たりする姿を 見取り、本時 や事後の活動 などに生かす るようにする。  ○司会グルー プのがんばっ ていた点、め あてや友達を 意識した意見 や態度などを 見つけて称賛 し、意欲をも って実践でき るようにする。	☆計画委員 として司会や 記録などの役 割を果たして 話し合いを進 めている。 【思考・判 断・表現】 〈観察〉  ☆友達の考 えを認めなが ら、よりよい 解決方法や実 践の仕方を考 えて話し合い に参加してい る。 【思考・判 断・表現】 〈観察・学級 会ノート〉

③ 本時の視点

・学級目標に近付くために、みんなで協力できるものについて考えながら話し合いをすることができていたか。

④板書計画

<p>第三回 学級会</p> <p>はじめの言葉</p> <p>議題</p> <p>スポーツ集会をしよう</p> <p>提案理由</p> <p>今までみんなで協力できたときもあれば、できなかったときもありました。みんなで協力して行うクラスだけのスポーツ集会をすることで、学級目標に近付けると思い提案しました。</p> <p>めあて</p> <p>みんなで協力できる集会にしよう。</p> <p>柱1</p> <p>何をするのか決める</p> <p>○人リレー</p> <p>○しようがいぶつりレー</p> <p>○フラフープくぐり</p> <p>○ボールおくり</p> <p>○八の字とび</p> <p>決まったことの確認</p> <p>まとめ合いタイム</p> <p>ふりかえりタイム</p> <p>先生の話</p> <p>おわりの言葉</p>	<p>決まっていること</p> <p>【日時】</p> <p>【場所】 体育館</p> <p>【種目】</p> <p>話し合っって決めた種目一つ</p>
---	--

(3) 事後の活動

活動の場	児童の活動	○指導上の留意点	☆目指す児童の姿【観点】 〈評価方法〉
6月 日 ( ) 朝の時間	・集会の役割分担をする	○これまでの経験を生かし、必要な役割を考えて全員で分担できるようにする。	☆役割分担に基づいて協力して準備を進めている。 【思考・判断・表現】〈観察〉
6月 日 ( ) ~ 休み時間	・役割毎に集会に向けて準備をする。	○準備の進捗状況を確認し、活動意欲が継続するよう声かけをする。	
6月 日 ( ) 2校時	・4年3組スポーツ集会を行う。	○めあてを提示し、意識できるようにする。 ○振り返りでは、互いのよさを認め合えるような場にし、自分たちでつくることができたことを実感することができるようにする。	☆集会のめあてを意識して、友達と協力して活動している。 【思考・判断・表現】〈観察〉
6月 日 ( ) 帰りの会	・ふり返りカードを書く。	○次にどんなことをしたいか、また今回の課題をどのように次に生かしていきたいかを、中心に考えられるよう助言する。	☆活動に対する自分の取り組み方や、学級全体としての実践を振り返り、今後の学級活動への見通しをもって取り組もうとしている。 【主体的態度】 〈学級会ノート〉